

「 尼崎の歴史を 知る企業 」



創業初期の株券

不動産 ラムタ興産 株式会社

尼

崎士族の世襲財産を保持する目的で設立された尼崎葬儀を前身に持つラムタ興産は、地域とのコミュニケーションを大切に、また時代の流れに対応した事業展開に取り組み、現在では駐車場をメインとして、倉庫やビルの賃貸を行う不動産賃貸業者です。

【 葬儀業から 不動産業へ転身 】

ラムタ興産は初代代表を寺島延吉(国鉄新橋駅長、大阪駅長などを歴任)、取締役を小森純一(初代尼崎信用組合(現在の尼崎信用金庫)理事長)や桜井忠剛(初代尼崎市長)といった尼崎を代表する士族が務めた、尼崎の歴史と深い関わりのある企業です。まちの公衆衛生を向上させるため、また、困窮していた士族を救うために発足した1913年から約50年余りにわたって葬儀業

(火葬場)を営み、その後、葬儀業務(火葬場)が市に渡ってからは不動産賃貸業へと新たな展開を行いました。地域に密着した堅実な経営で歴史を重ねたラムタ興産は、尼崎のこれからの100年も見守り続けることでしょう。



▶ 創業初期の資料

ラムタ興産(株)

〒660-0893
兵庫県尼崎市西難波町
2丁目11番18号
TEL:06-6418-5778
代表取締役 吉村 治之